

2021（令和3）年度 えひめ女性財団調査研究助成事業

小児科外来患者における将来の妊娠困難に直面する女性のための健康支援

人間環境大学松山看護学部

愛媛大学医学系研究科地域小児・周産期医学講座

愛媛大学医学部附属病院睡眠医療センター

高田律美

檜垣高史

岡 靖哲

勝田理恵

目次

I. 調査概要

1. 調査・研究の背景
2. 調査・研究の目的
3. 調査方法
4. 結果および考察
 - 1) 調査対象
 - 2) プレコンセプションケア（パンフレット内容）に関する知識を過去に得た経験の機会
 - 3) プレコンセプションケア（パンフレット内容）の理解
 - 4) ライフプランにプレコンセプションケアを取り入れたい積極性
 - 5) プレコンセプションケアについての相談の機会と提供の場の希望
 - 6) 性の悩みについて専門家に聞きたいこと
 - 7) 子どもに対する、性・生殖に関する健康や悩みについて、地域・社会でどう支援することが重要だとおもうか
 - 8) 地域と親子で取り組むプレコンセプションケア検討会開催
5. 今後の課題
6. 謝辞

II. 調査資料

1. 将来のための健康支援パンフレット（概要）
2. 子ども用アンケート
3. 大人用アンケート

I、調査概要

I. 調査概要 要約

女性支援の一つであるリプロダクティブヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）に関連する健康支援をするにあたっては、誰しもそれに関連する健康支援を受けることができる。性と生殖に関する健康の中でも、現在“プレコンセプションケア”が重要とされている。プレコンセプションケア（受胎前教育）とは、将来の妊娠を考えながら女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うことである。一方、若年男女の健康管理という点においては、妊娠の計画の有無にかかわらず、その意義が世界的に認識されつつある。

今回の調査では、良好なプレコンセプションヘルスを実現するためをしていくための基礎資料とするために、プレコンセプションケア、ライフスタイル・生活習慣の改善、良好なメンタルヘルス、がん検診（子宮癌・乳癌）、感染症の予防などに加え、病気を持つ子どもにも使用できるものとして、病気の管理・治療（今回は心疾患）と妊娠・出産を追加し、思春期以降の若者が誰でも手に取って読むことができる「プレコンセプションケア」に関するパンフレットを作成した。

さらに、アンケートにより、子どもに対してはプレコンセプションケアに関する意識や知識の習得の程度、パンフレット内容の理解と感想、プレコンセプションケアに関連する悩みなどについて調査することとした。また、地域に住む成人期以降の大人に対しては、プレコンセプションケアの内容についてパンフレット内容は役立つか、今後どのような支援が必要と考えているかについて明らかにし、今後の良好なプレコンセプションヘルスを実現していくための支援方法の基礎資料とするために調査することを目的とした。

対象者は、主として愛媛県に住む小児科外来に通院中の子どもおよび中学生～大学生の時期にある人（以下：子どもとする）、地域に住む、プレコンセプションケアに関心のある成人期あるいは子どもを持つ親（以下：大人とする）を対象とした。質問紙の配布については、子ども用 361 件、大人用 146 件、合計 507 件であった。回収（回収率）は、子ども用 103 件（28.5%）、大人用 49 件（33.6%）、合計 152 件（32.7%）であった。子ども用で回答した平均年齢は 17.2（±4.2）歳であり、大人用について回答した人の平均年齢は 50.6（±10.2）歳であった。

プレコンセプションケアに関する過去の教育や知識では、子どもは中学の時の教育での知識の獲得が一番多く“妊娠・出産” 66 名（64.1%）、“禁煙・飲酒” 73 名（70.9%）、“思春期のからだと心” 78 名（75.7%）などの知識の習得の高い時期だった。高校生で知識を得た割合が多いのは“避妊”で 25 名（24.3%）、“性感染症” 20 名（19.6%）、“がん” 20 名（19.4%）であった。大人がパンフレットの内容を子どもに伝えたいかの考えが一番強かったものは“避妊” 9.12（±1.30）“性感染症” 9.82（±1.41）で次いで“喫煙・飲酒” 9.06（±1.65）であった。一方、低かったものは“ライフプランを書いてみよう” 7.84（±2.21）であり、子どもが出産や子育てを含んだ具体的な人生設計、すなわちプレコンセプションケアが人生設計の中で行うことについて積極的な考えをが持つことを勧める考えが低いという結果となっ

た。しかし大人も同様にパンフレットの内容のいずれも7割以上の点数で子どもに伝えたいと回答していた。

子どもの理解度の一番高かったものは“食生活・運動・睡眠”9.02(±1.35)で、次いで“思春期のからだと心”8.84(±1.44)で“やせすぎ・肥満”8.83(±1.48)であった。一方、低かったものは“自分の将来の妊娠・出産”7.82(±2.01)であり、自分自身の将来の妊娠・出産の意識が低いことが分かったがいずれも7割以上点数で理解を示した。

プレコンセプションケアについての相談の機会と提供の場の希望については、実際の相談場所が必要と答えた42名(85.7%)と8割以上の高い結果になったが、子どもは42名(40.8%)と低く、約4割が希望していた。専門家による支援の中では個別指導、ピアによる集団指導などの希望が大人、子どもともにあるとともに、病院でのがん検診やブライダル検診を希望していることがわかった。

プレコンセプションケアの網羅的な実施から、個別が自分自身について悩み憂慮する際の受け皿の必要性が示唆される結果となった。これらの専門家による支援が喫緊に必要な対象数は、少数であっても、個々が必要とする適切な支援が身近に必要と感じていることの表れと考えられた。今後はさらに、一般および疾病を有する学童・思春期を幅広く対象としたプレコンセプションケアに関する支援、さらに個々の相談にも応じられるシステムづくりの展開が必要と考える。

1. 調査・研究の背景

女性支援の一つであるリプロダクティブヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）に関連する健康支援をするにあたっては、お腹の中に新しい命を授かる前のケア（プレコンセプションケア）が重要である。また、リプロダクティブヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）はヒトが充実した生活や人生を送るためには大切なことであり、誰しもそれに関連する健康支援を受けることができる。性と生殖に関する健康の中でも、現在“プレコンセプションケア”が重要とされている。

プレコンセプションケアの、コンセプション(Conception)は受胎、つまり、お腹の中に新しい命を授かることをいい、プレコンセプションケア（受胎前教育）とは、将来の妊娠を考えながら女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うことである。一方、若年男女の健康管理という点においては、妊娠の計画の有無にかかわらず、の意義が世界的に認識されつつある。海外でのプレコンセプションケアは、2006年よりCDC（アメリカ疾病管理センター：Center for Disease Control and Prevention 以下CDC）が提唱しはじめ（Johnson K et al. 2006）、その後WHO（世界保健機関：World Health Organization 以下WHO）はプレコンセプションケアをパッケージで展開している。その内容は、「栄養状態」、「喫煙」、「遺伝子に関する状態」、「環境衛生」、「不妊症/不妊治療」、「性暴力」、「早すぎる妊娠・望まない妊娠・間隔をあけない連続した妊娠」、「性行為感染症」、「HIV」、「メンタルヘルス」、「向精神薬・薬物の使用」、「ワクチンで予防可能な疾患」、「女性性器切除」の13領域がある（WHO, 2013）。このように、プレコンセプションケアのコンセプトは、予期しない妊娠を回避することにとどまらず、男性女性にとっての健康的な生活を目指すこと、そして現在はまだ妊娠を考えていない思春期の女性・男性へも健康的な利益をもたらす。プレコンセプションケアの対象は前思春期から生殖可能年齢のすべての人々である。“国際セクシャリティ教育ガイダンス”（UNESCO, 2020）においても人間のアイデンティティの発達には性的な発達と分かちがたく、若者の健全な発育には各発達段階に応じた前思春期からの教育的アプローチと科学的な正しい情報に基づき、多様性を尊重し個別の性的価値観と人権の尊重という、健全な価値感の醸成が重要とされている。

日本においてもプレコンセプションケアは、将来妊娠を考えた女性だけでなくパートナーを含めた教育を学童期・思春期より提供することにより、将来の健康な妊娠生活、健全な出産、生まれた子どもに適切な養育環境の提供を行うことにつながるともいわれている。成育基本法における、成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針のなかに、「安心・安全で健やかな妊娠・出産、産後の健康管理を支援するため、プレコンセプションケアの実施などの支援を求める者や、支援が必要と認められる成育過程にある者等に対して適切に支援を実施するなど、需要に適確に対応した切れ目のない支援体制を構築する。」と明記されている。しかし、将来の妊娠に対する健康を児童青年期から考えようとする取り組みはまだ十分に進んでいない。また、現代は医療の進歩に伴い未熟児や慢性疾患を持つ子どもが、成育医療として小児科で成人期までフォローされている。医療提供の

みでなく、生活や人生の質の向上、すなわち QOL にも踏み込んだ支援を受けているが、妊娠・出産に困難を有する人々への情報提供も見過ごされがちな現状がある。

近年推奨されているプレコンセプションケアは、健康な妊娠生活、健康な児の出産、思いがけない妊娠や中絶の回避などの効果のみでなく、思春期以降の若い男女に、より健全な生殖に関連する検診や保健指導を実施し、将来の妊娠困難につながる状況の理解や個人の健康管理能力の醸成につなげるための、プレコンセプションケアの導入が必要とされている。

そこで、思春期以降の妊娠可能期の男女の健康支援の一端として、地域に密着したよりよいプレコンセプションケアの提供する必要があると考えた。

2. 調査・研究の目的

今回の調査では、良好なプレコンセプションヘルスを実現するためをしていくための基礎資料とするために、プレコンセプションケア、ライフスタイル・生活習慣の改善、良好なメンタルヘルス、がん検診（子宮癌・乳癌）、感染症の予防などに加え、病気を持つ子どもにも使用できるものとして、病気の管理・治療（今回は心疾患）と妊娠出産を追加し、思春期以降の若者が誰でも手に取って読むことができる「プレコンセプションケア」に関するパンフレットを作成した。

さらに、アンケートにより、子どもに対してはプレコンセプションケアに関する意識や知識の習得の程度、パンフレット内容の理解と感想、プレコンセプションケアに関連する悩みなどについて調査することとした。また、地域に住む成人期以降の大人に対しては、プレコンセプションケアの内容についてパンフレット内容は役立つか、今後どのような支援が必要と考えているかについて明らかにし、今後の良好なプレコンセプションヘルスを実現していくための支援方法の基礎資料とするために調査することを目的とした。

3. パンフレットの内容（第Ⅱ部、パンフレット参照）

[自分のからだ・心の変化を知ろう]では

- ①ライフサイクルと身体の変化：ライフサイクルの過程でホルモンの変化とそれに伴う心身の変化について
- ②思春期のからだと心：二次性徴と思春期に伴う体の変化について
- ③恋愛について：パートナーとよりよい関係について、デートDVについて

[今と将来の自分の健康に向きあおう]については

- ④やせすぎ、肥満の影響：BMI の計算、やせすぎ・肥満の影響
- ⑤食生活・運動・睡眠：バランスの取れた食生活のポイント、妊娠に関連する葉酸、鉄分、カルシウムの接種、運動の効果、睡眠習慣
- ⑥喫煙・飲酒の健康への影響：たばこの影響、副流煙を含む、アルコールの影響。妊娠・出産との関連

- ⑦ がんとは～乳がん、子宮頸がん：乳がん、子宮がんの予防と検診
- ⑧ 性感染症とその予防：性感染症の予防と検診

[妊娠・出産] について

- ⑨ 妊娠・出産のことを知ろう：妊娠の成立、妊娠の可能性、妊娠初期の症状、妊娠の経過・出産について
- ⑩ 避妊～予期せぬ妊娠を避けるために：避妊についてその種類と特徴、緊急避妊法、人工妊娠中絶について

[自分の病気と妊娠・出産について考えてみよう] については

- ⑪ 病気とパートナーシップ：病気を持って妊娠すること。心疾患について、子どもを持つことと専門家とのパートナーシップ

[自分の人生について考えよう]

- ⑫ ライフプランを書いてみよう：妊娠・出産の有無を考え、ライフプランを立案する

3. 調査方法（質問紙調査）

1) 調査対象と調査期間

- ① 対象者：主として愛媛県に住む小児科外来に通院の子どもおよび中学生～大学生の時期にある人（以下：子どもとする）。地域（主として愛媛県内）に住む、プレコンセプションケアに関心のある成人期あるいは子どもを持つ親（以下：大人とする）を対象とした。
- ② 調査期間：パンフレット完成後の12月20日～3月15日まで
- ③ 調査内容

【子ども用質問紙】では

- * [属性] として、年齢、性別、学生・職業の有無、未婚・パートナーの有無、治療中の病気の有無。
- * パンフレット項目：1) ライフサイクルと身体の変化、2) 思春期のからだと心、3) 恋愛って？、4) やせすぎ、肥満の影響、5) 食生活・運動・睡眠、6) 喫煙・飲酒の健康への影響、7) がんとは～乳がん、子宮頸がん～、8) 性感染症とその予防、9) 妊娠・出産のことを知ろう、10) 避妊～望まない妊娠をさけるために、11) 病気とパートナーシップ、12) ライフプランを書いてみよう。
- * 既知の知識として1)～12) についてすでに知っていたか、知っていた人はどんな方法で知ったかについて回答する。
- * パンフレットの内容は理解できたかについて
 - 1)～12) についてはとても理解できた（10点）～全く理解できなかった（1点）の10段階評定。
- * パンフレットの活用について（パンフレットを読んで）

- 将来の妊娠や出産、についてどの程度考えることができたかについては、とてもよく考えた(10点)全く考えなかった(1点)の10段階評定
 自分の性や妊娠や出産に関する健康について考える機会になったか。についてとても良い機会になった(10点)～全くその機会にならなかったの10段階評定
- * パンフレットの内容 1)～11) 項目について自分の健康について相談する場があったらどのような内容について相談したいか(複数回答)
 - * 今後プレコンセプションケアについてどのような形でのケアを受けたいかについて、
 - 1) 集団教育：ピア(同世代・同じ経験をした仲間)、2) 集団教育：家族とともに、3) 集団教育：夫・パートナーとともに、4) 個人相談：家族とともに、5) 個人相談：夫・パートナーとともに、6) 個人相談：電話で独りで相談したい、7) 個人相談：対面で独りで相談したい、8) 病院で検診を受けたい：ブライダル(婚前)健診、9) 病院で検診を受けたい：自分の気になる身体の健康診断(がん検診など)、10) その他について(複数回答)とした。
 - * 性・生殖に関する健康や悩みについて、専門家に聞きたい内容は自由記載とした。

【大人用質問紙】では

- * [属性]として、年齢、性別、職業の有無
- * 既知の知識としてあなたが知った時期、パンフレット項目である1)～12)についてすでに知っていたか、知っていた人はどんな方法で知ったかについて回答する。
- * パンフレットの内容について周りの子どもに伝えたい・伝える必要があると思うかについて。1)～12)について、とても伝えたい(10点)～積極的に伝えたいとは思わない(1点)の10段階評定。
- * パンフレットの活用について、(パンフレットを読んで)プレコンセプションケア・将来の子ども性の性や妊娠や出産、についてどの程度考えることができたかについては、とてもよく考えた(10点)～全く考えなかった(1点)の10段階評定
- * プレコンセプションケア・将来の子ども性の性や妊娠や出産、性や妊娠や出産に関する健康について考える機会になったか。とても良い機会になった(10点)～全くその機会にならなかったの10段階評定
- * パンフレットの内容 1)～11) 項目について思春期以降の人が健康について相談する場があるとしたら、どのような内容の相談が必要だと思うか。(複数回答)
- * 今後このようなプレコンセプションケアについて子どもの相談ができる場所あれば紹介したいかについて
 - 1) 集団教育：ピア(同世代・同じ経験をした仲間)、2) 集団教育：家族とともに、3) 集団教育：夫・パートナーとともに、4) 個人相談：家族とともに、5)

個人相談：夫・パートナーとともに、6) 個人相談：電話で独りで相談したい、7) 個人相談：対面で独りで相談したい、8) 病院で検診を受けたい：ブライダル(婚前)健診、9) 病院で検診を受けたい：自分の気になる身体健康診断(がん検診など)、10) その他について(複数回答)とした。

*子どもに対する性・生殖に関する健康や悩みについて、地域・社会でどう支援することが重要だと思うかについて自由記載とした。

4. 結果および考察

1) 調査対象

質問紙の配布については、子ども用 361 件、大人用 146 件、合計 507 件であった。回収(回収率)は、子ども用 103 件(28.5%)、大人用 49 件(33.6%)、合計 152 件(32.7%)であった。

*調査対象の年代(図1、図2)

子ども用について回答したのは10歳代82名(79.6%)で一番多く、次いで20歳代18名(17.5%)、30歳代3名(2.9%)と一番少なかった。平均年齢は17.2(±4.2)であった。大人用について回答した年代は50歳代24名(50%)で一番多く、次いで40歳代10名(20.8%)、30歳代と60歳代はそれぞれ6名(12.5%)、6名(12.5%)同じような割合で回答していた。大人用で回答した人の平均年齢は50.6(±10.2)であった。

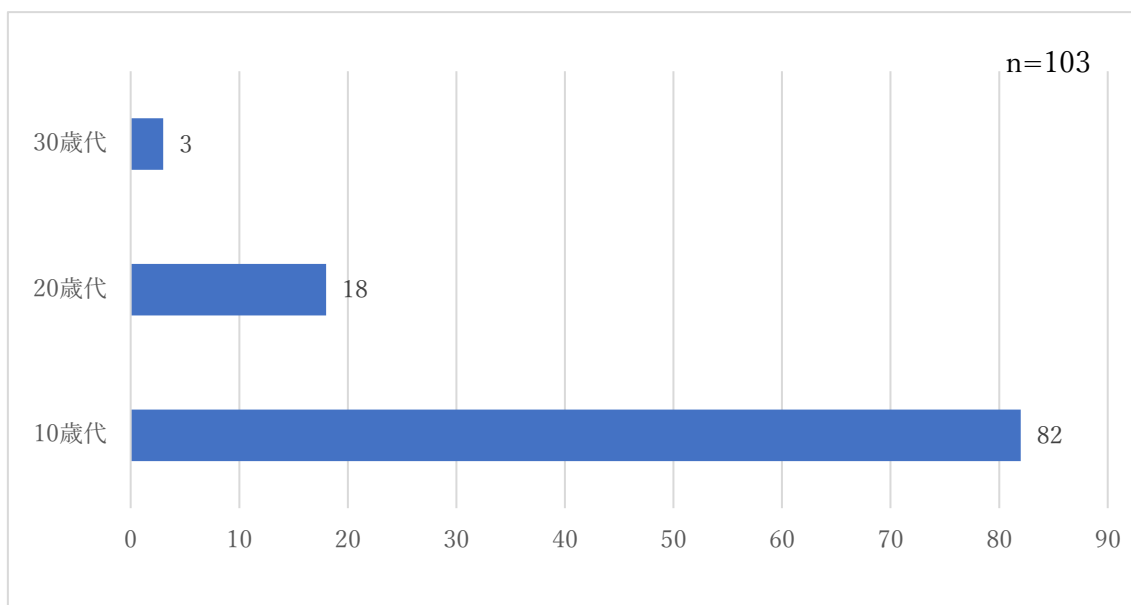


図1 年代別人数(子ども用質問紙)

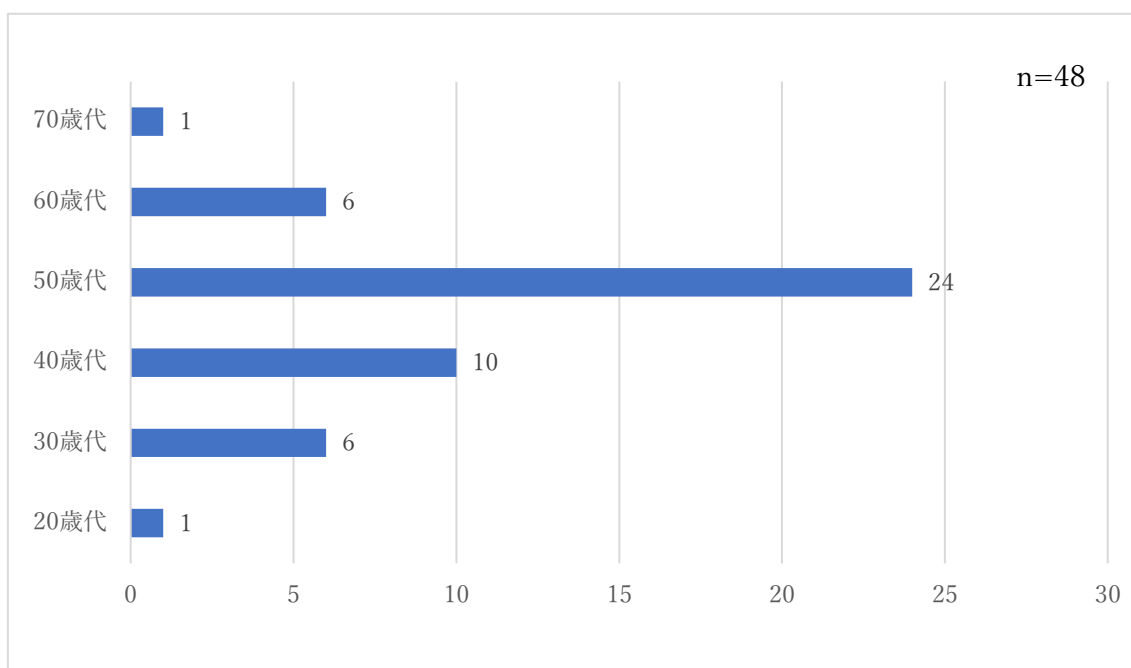


図2 年代別人数（大人用質問紙）

* 調査対象の性別（図3, 図4）

子ども用については女性が77名(74.8%)で、男性は25名(24.3%)であった。大人用について回答した年代は女性が40名(83.3%)で、男性は8名(16.7%)であり、いずれも女性が多かった。

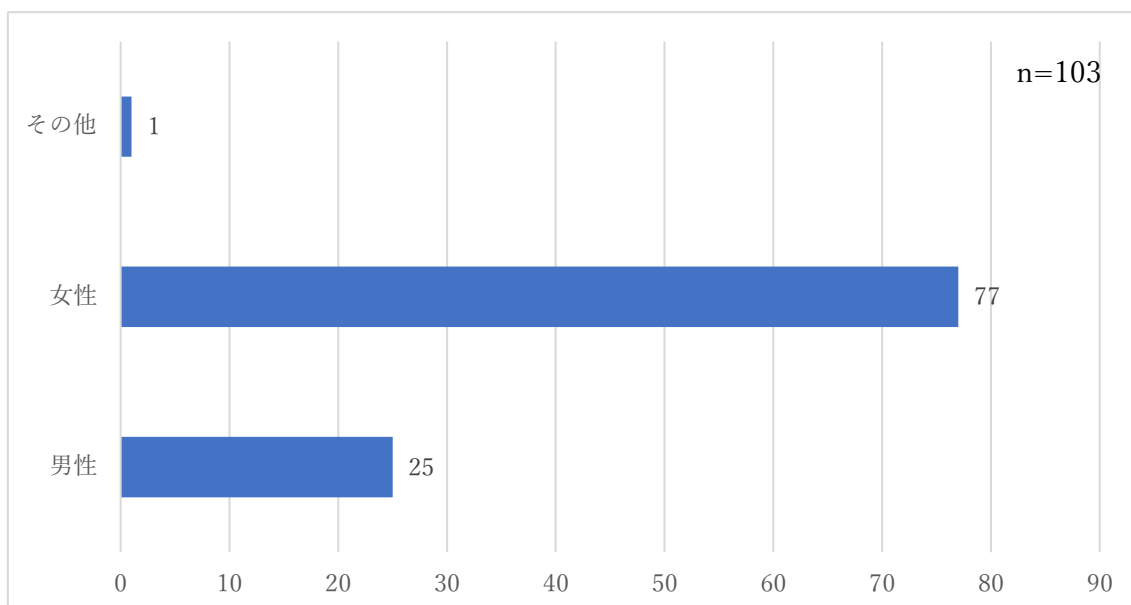


図3 性別（子ども用質問紙）

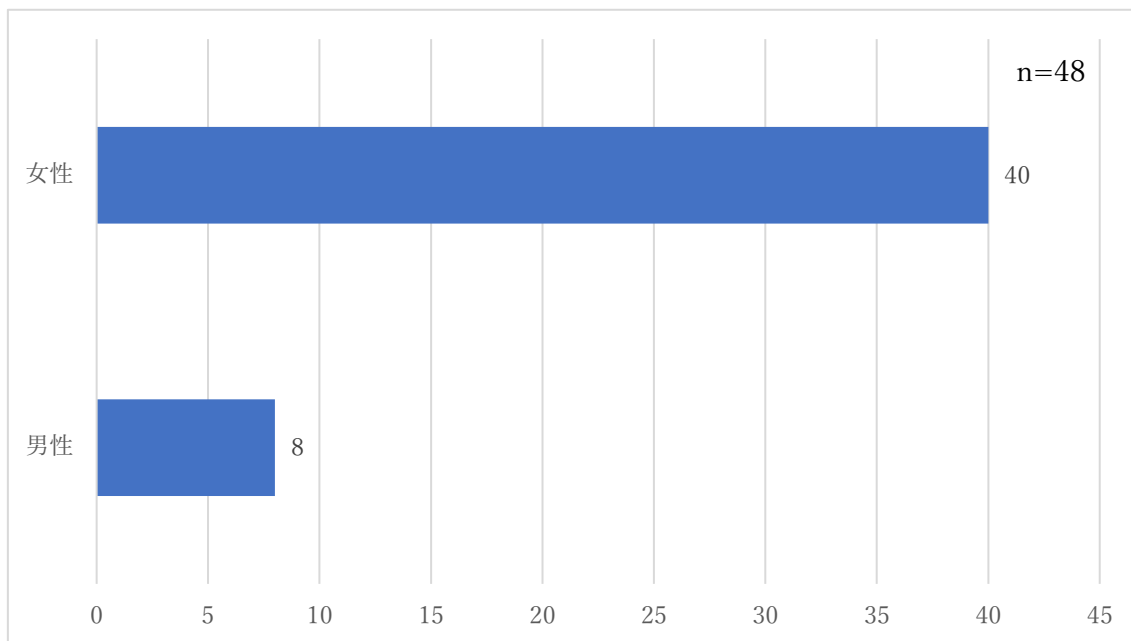


図4 性別（大人用質問紙）

*職業・学生・パートナー等（図5-図7）

子ども用について回答した者は中学生が32名(37.2%)で一番多く、次いで高校生30名(34.9%)、大学生21名(24.4%)と続いた。大人用で職業有と回答した者は45名(93.8%)であり、有職者が多かった。

子ども用質問紙でパートナーがいると答えた人は18名(22.2%)で、既婚者は1名(1.2%)であった。

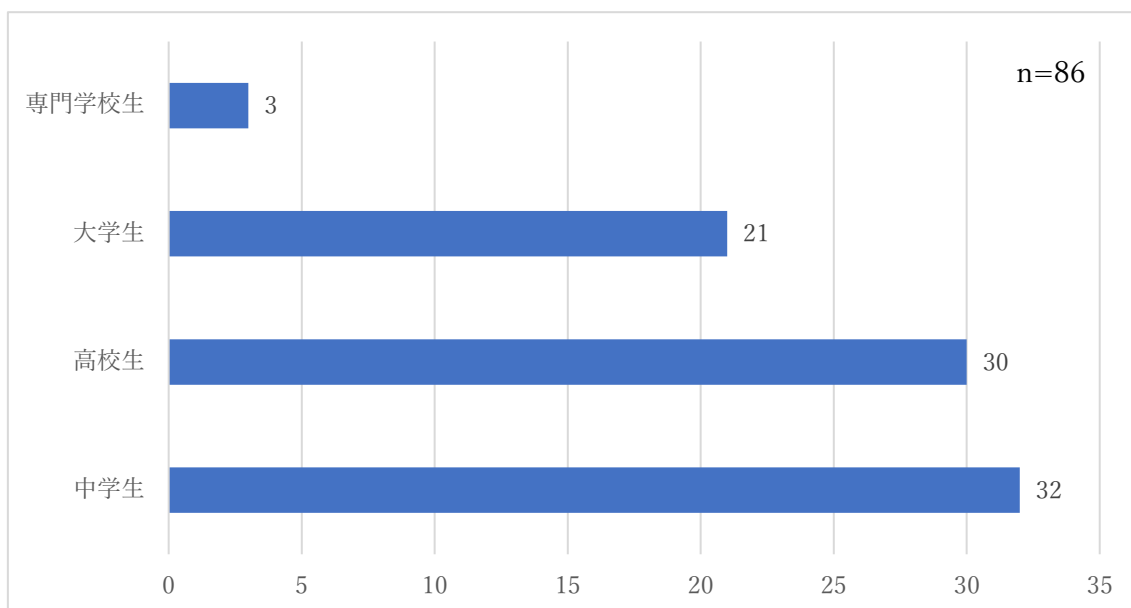


図5 学生（子ども用質問紙）

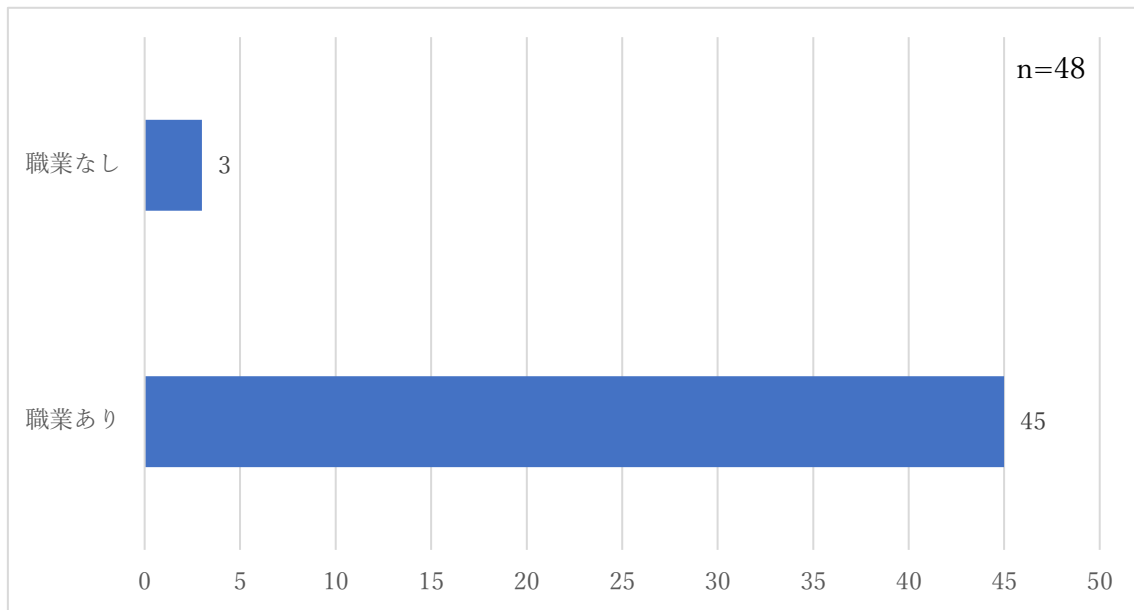


図6 職業（大人用質問紙）

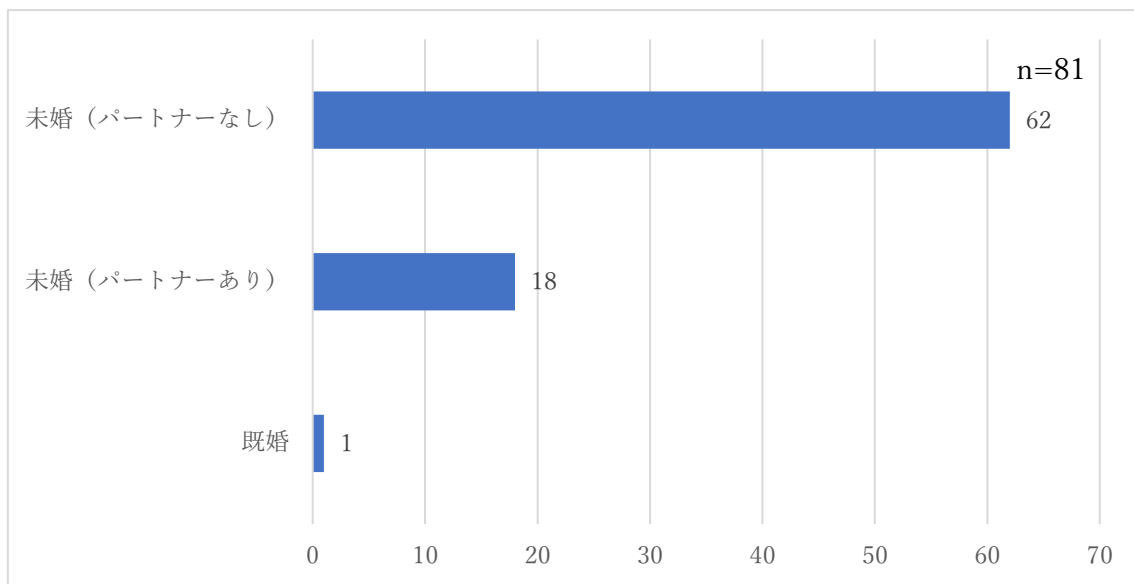


図7 パートナー（子ども用質問紙）

* 治療中の病気（図8）

治療中の病気があると回答した子どもは3名(3.2%)で、調査では小児科外来で病気を持つ子どもの調査を意図したが、回収できたのは健常な子どもでの回答を主として得られるという結果となった。

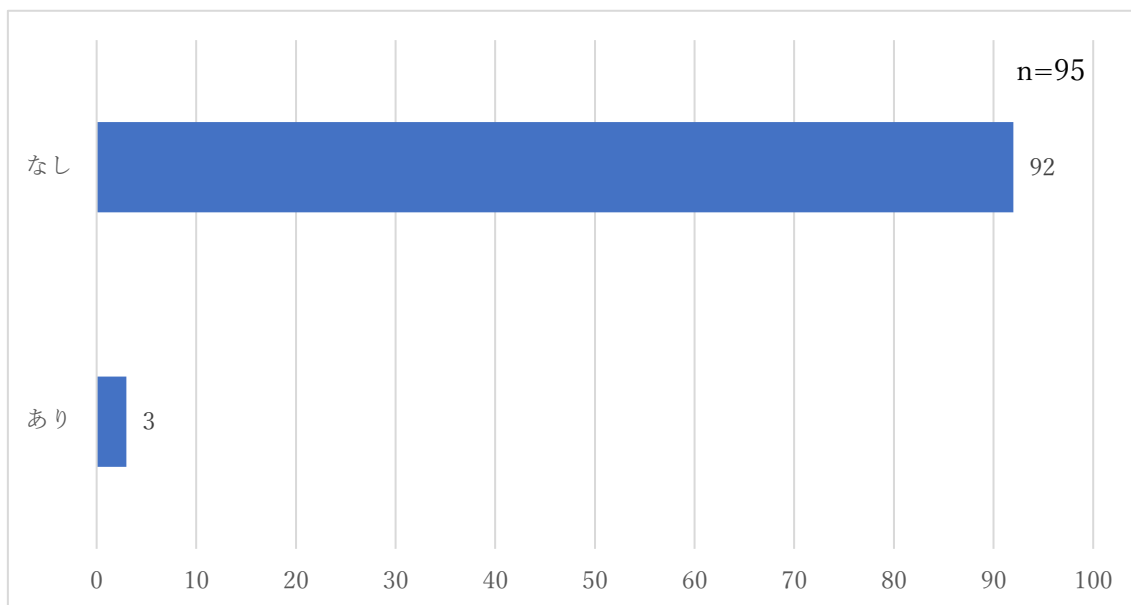


図 8 治療中の病気の有無（子ども用質問紙）

2) プレコンセプションケアに関する知識を過去に得た経験の機会（図 9、図 10）

プレコンセプションケア（パンフレット内容）に関する今までに受けてきた受胎前教育や知識を過去にどの時期からどんな方法で知っていたかについては、子ども用に回答した人は「知らない」と答えた項目で一番多かったのは“病気とパートナーシップ”が 62 名（60.2%）であり、次いで知らない者が多かったのは“がん”で 42 名（40.8%）であった。“思春期の心とからだ”について知らなかった者は 10 名（9.7%）で少ないことから、思春期の第 2 次性徴についての教育は受けているが、ライフサイクルに沿って成熟期、更年期、老年期とホルモンの変化とともに生殖や健康状態が変化することに対する知識は少ないことが明らかになった。また、がんや病気について性と生殖に関する視点での知識の習得の機会が少ないことも分かった。中学の時の教育での知識の獲得が一番多く思春期のからだと心” 78 名（75.7%）、“禁煙・飲酒” 73 名（70.9%）、“妊娠・出産” 66 名（64.1%）と知識の習得の高い時期だった。高校生で知識を得た割合が多いのは“避妊”で 25 名（24.3%）、“性感染症” 20 名（19.6%）、“がん” 20 名（19.4%）であった。

大人用に回答した人は、中学の時の教育での知識の獲得が一番多かったのは“思春期のからだと心” 38 名（79.2%）で“恋愛” 30 名（61.2%）、“妊娠・出産” 29 名（59.2%）、“ライフサイクルとからだ” 28 名（56%）、などの知識の習得の高い時期だった。高校生で知識を得た割合が多いのは“避妊”で 20 名（40%）、子どもと同様の結果になったが、“禁煙・飲酒” 15 名（30.1%）で、大人は大学生の時期に“がん” 17 名（34.7%）、“病気とパートナーシップ” 15 名（30.6%）、“性感染症” 15 名（30%）、について学習したことが

明らかになった。“性感染症”については大学生時期と同様に、中学生の時期にも 15 名 (30%) 高校生の時期にも 14 名 (28.5%) と同様の割の学習をしていた。

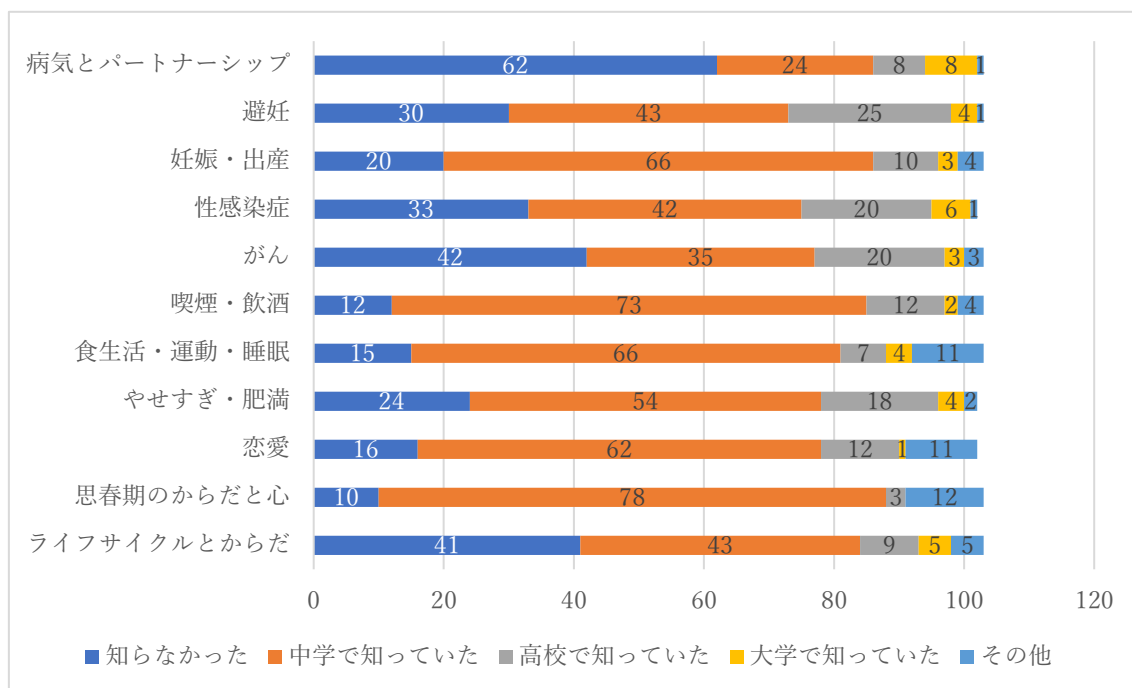


図 9 プレコンセプションケアに関する知識を過去に得た経験の機会 (子ども用質問紙)

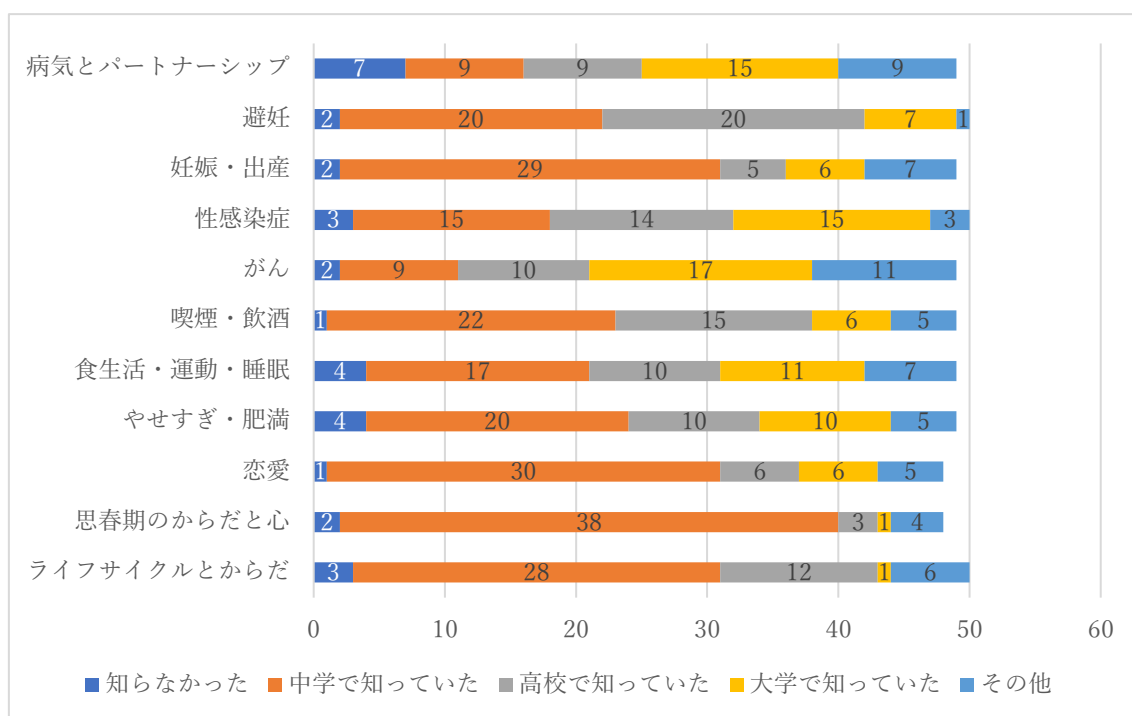


図 10 プレコンセプションケアに関する知識を過去に得た経験の機会 (大人用質問紙)

3) プレコンセプションケア（パンフレット内容）についての理解（表1、表2）

子どものパンフレットの理解度の一番高かったものは“食生活・運動・睡眠”9.02(±1.35)で次いで“思春期のからだと心”8.84(±1.44)で“やせすぎ・肥満”8.83(±1.48)のであった。一方、低かったものは“自分の将来の妊娠・出産”7.82(±2.01)であり、自分自身の将来の妊娠・出産の意識が低いことが分かったがいずれも7割以上点数で理解を示した。

大人がパンフレットの内容を子どもに伝えたいかの考えの一番高かったものは“避妊”9.12(±1.30)“性感染症”9.82(±1.41)で次いで“喫煙・飲酒”9.06(±1.65)であった。一方、低かったものは“ライフプランを書いてみよう”7.84(±2.21)であり、子どもが出産や子育てを含んだ具体的な人生設計、すなわち、プレコンセプションケアを人生設計の中に積極的な考えをもつことを勧める、という点数が低いという結果となった。しかし大人も同様にパンフレットの内容のいずれも7割以上の点数で子どもに伝えたいと回答していた。

表1. パンフレットの内容の理解度（子ども用質問紙） n=103

内容	平均値	標準偏差
ライフサイクル	8.47	1.71
思春期のからだと心	8.84	1.44
恋愛	8.66	1.54
やせすぎ・肥満	8.83	1.48
食生活・運動・睡眠	9.02	1.35
喫煙・飲酒	8.83	1.61
がん	8.61	1.53
性感染症	8.63	1.69
妊娠・出産	8.62	1.63
避妊	8.66	1.77
病気とパートナーシップ	8.26	1.88
ライフプランを書いてみよう	8.16	1.94
自分の将来の妊娠・出産	7.82	2.01
自分の妊娠・出産に関する健康を考えたか	8.13	2.04

表 2. パンフレットの内容を伝えたいか（大人用質問紙） n=49

内容	平均値	標準偏差
ライフサイクル	8.15	2.12
思春期の体と心	8.45	1.97
恋愛	8.35	2.02
やせすぎ・肥満	8.69	1.52
食生活・運動・睡	8.82	1.63
喫煙・飲酒	9.06	1.65
がん	8.86	1.65
性感染症	9.08	1.41
妊娠・出産	8.90	1.61
避妊	9.12	1.30
病気とパートナーシップ	8.76	1.51
ライフプランを書いてみよう	7.84	2.21
自分の将来の妊娠・出産	8.08	2.26
自分の妊娠・出産に関する健康を考えたか	8.22	2.11

4) ライフプランにプレコンセプションケアを取り入れたい積極性（図 11-図 13）

* ライフプランを実際に書いてみたかの問いに大人は 32 名が書かせたいと回答し書かせないと回答した人を上回ったが、実際は書いた子どもは 24 人で書かなかった子どもの 3 分の 1 程度に留まった。

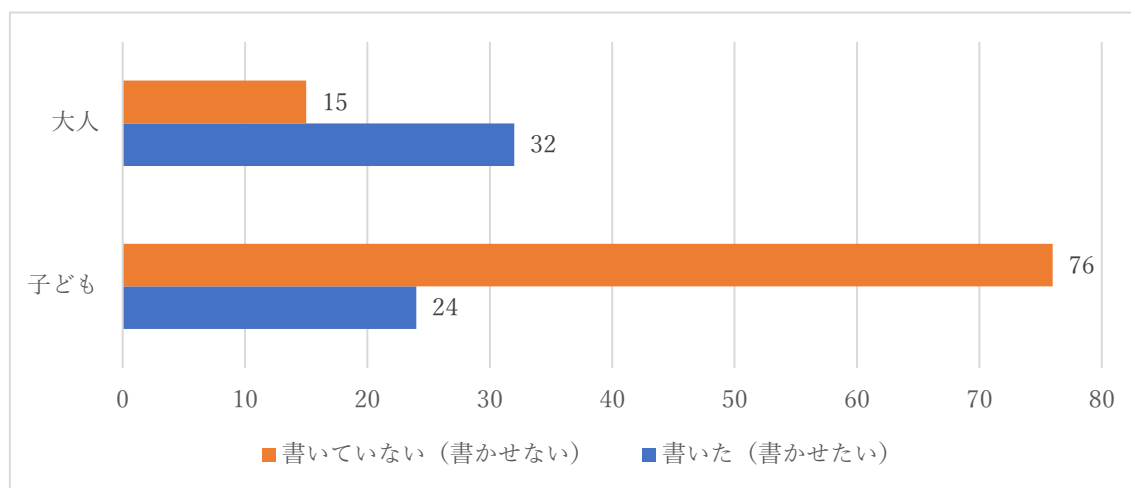


図 11 ・ライフプランを実際に書いてみたか or 書いて欲しいか

* 自分の健康についてどのような内容を相談したいかについては、子どもでは、将来の妊娠や出産について考えることができたかについて、1 番目に多かったのは“食生活・運動・睡眠” 41 名、2 番目に次いで多かったのは“がん” 35 名、3 番目は“やせすぎ・肥満” 27 名であ

った。大人への回答で、思春期以降の人が健康について相談するとしたら、どのような内容の相談が必要だと思うかについて、1 番目に多かったのは“避妊” 34 名、2 番目は“性感染症” 28 名であり、次いで多かったのは“妊娠・出産” 27 名、子どもと大人で必要とする相談の場の内容に相違があることが明らかとなった。

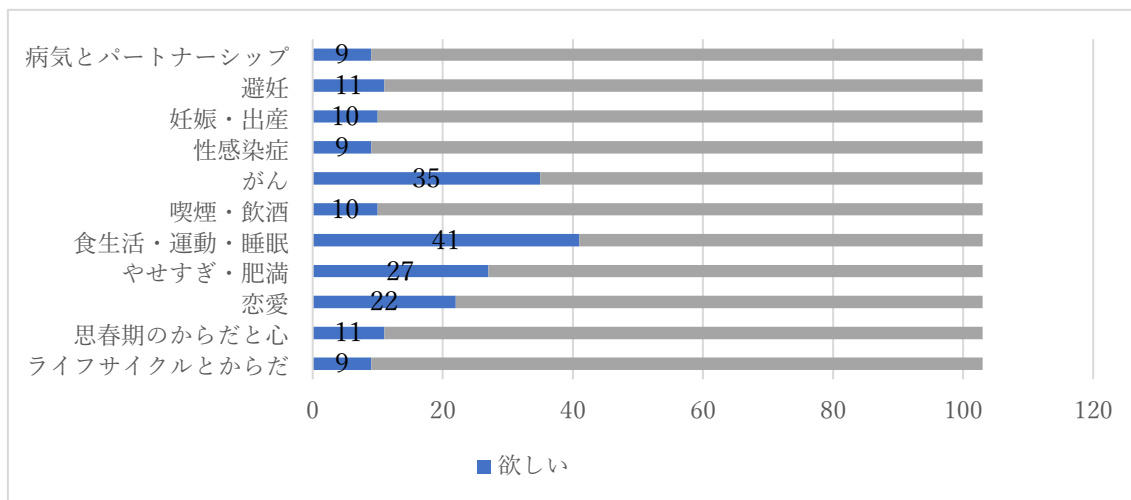


図 12 自分の健康についてどのような内容を相談したいか（子ども用質問紙）

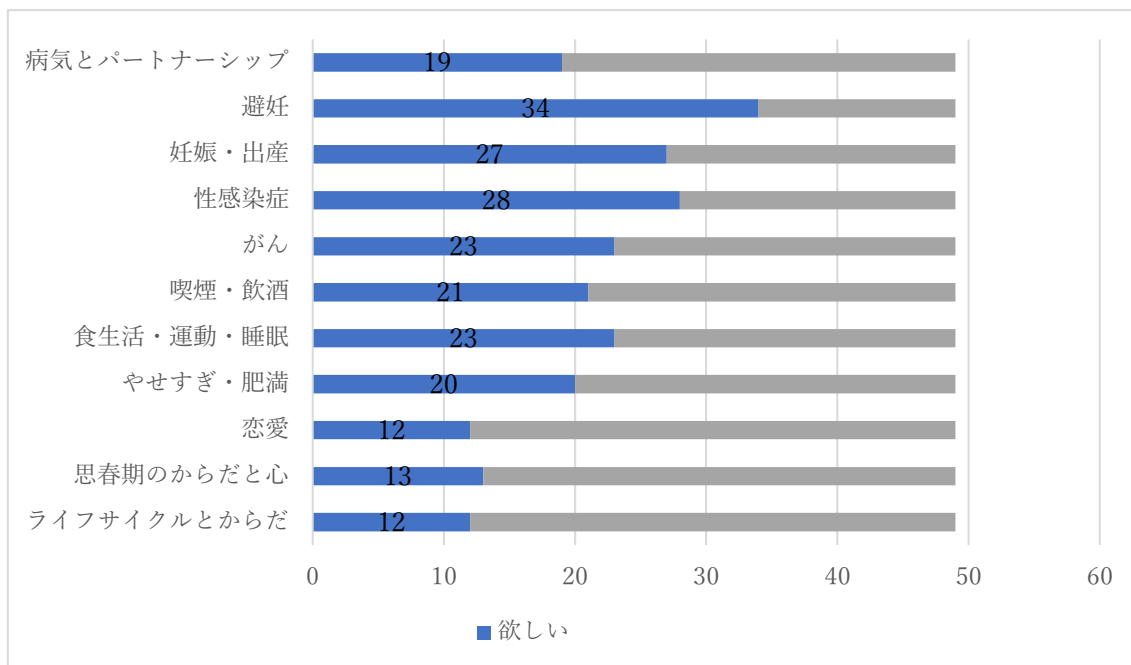


図 13 自分の健康についてどのような内容を相談したいか（大人用質問紙）

5) プレコンセプションケアについての相談の機会と提供の場の希望 (図14-図16)

* 実際の相談場所があれば紹介したいかという問いに大人は42名(85.7%)と8割以上が紹介したいという高い結果になったが、子どもは相談する機会があれば受けたいかについて42名(40.8%)と約4割が希望していた。

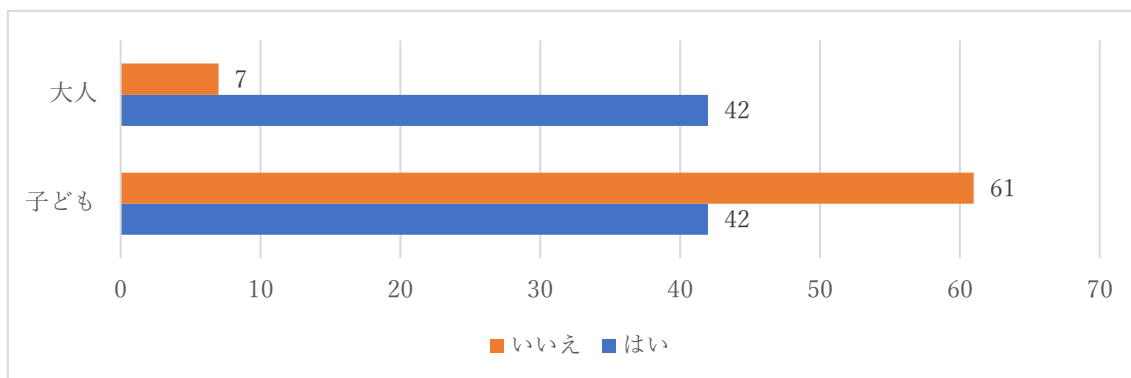


図14 プレコンセプションケアの相談の場の紹介・希望の比較

* プレコンセプションケアについての相談の機会と提供の場の希望
 プレコンセプションケアを提供する形式について (図15、図16)

子どもで現在相談の機会が欲しいと答えたのは“病院でのがん検診”16名、次いで対面で“対面で独りでの個別相談”の希望が13名、同じ経験を持つ“ピアによる集団教育”が12名であった。将来は“夫、パートナーとの個別相談”5名や“病院でのブライダル検診”を4名が希望していた。

大人でほしいと答えた人は同じ経験を持つ“ピアの集団教育”を25名が必要と答えており、“対面で独りでの個別相談”23名、“電話で自分のみでの個別相談”22名が必要と考えていた。大人は感じていた。

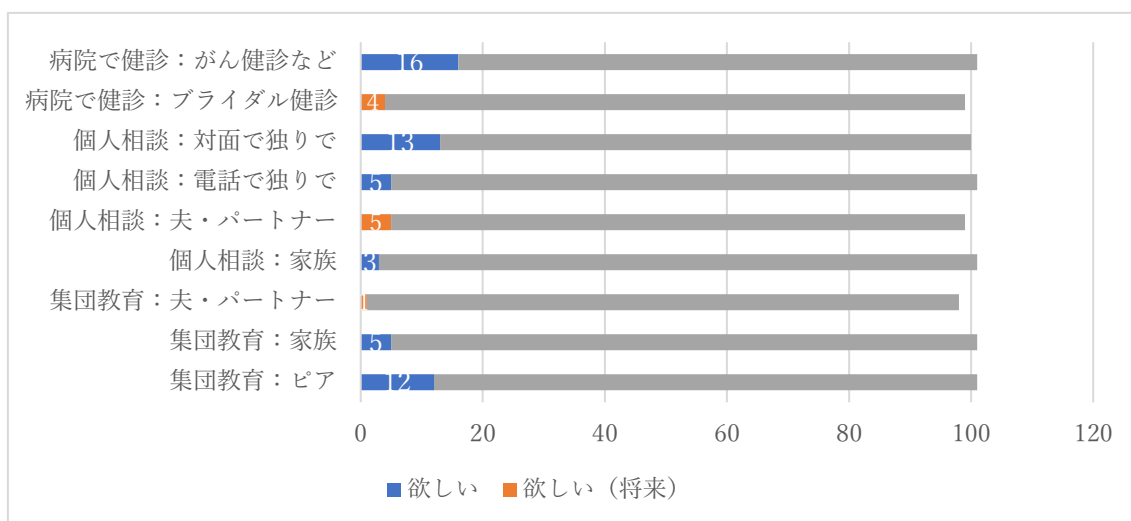


図15 相談の機会と提供の場の希望
 プレコンセプションケアを提供する形式について
 (子ども用質問紙)

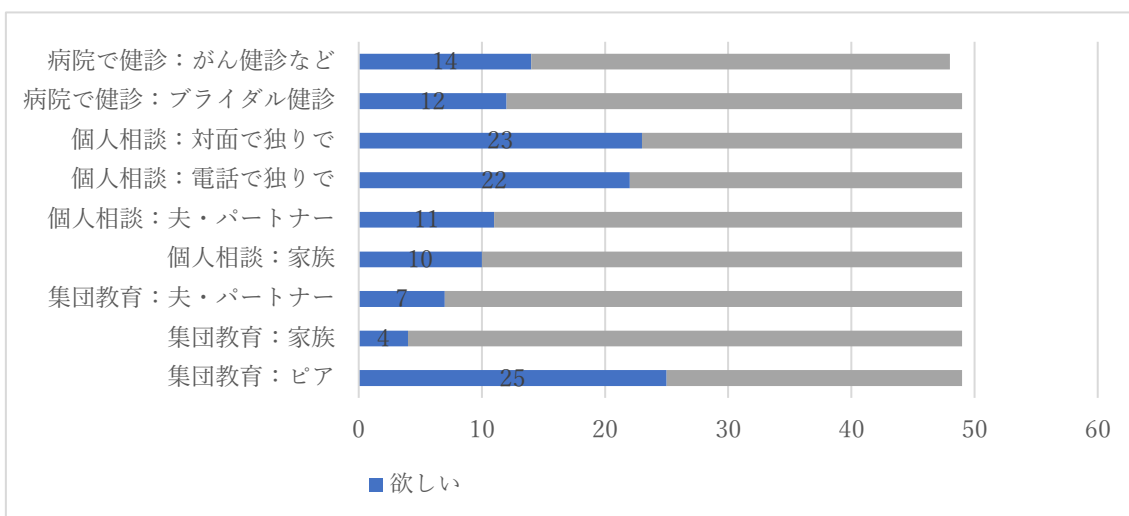


図 16 相談の機会と提供の場の希望
プレコンセプションケアを提供する形式について
(大人用質問紙)

6) 性と性の悩みについて専門家に聞きたいこと (表 3)

表 3 生殖についての悩み (子ども用質問紙:一部改変)

中学生の平均睡眠が6~7時間ということ分かったのですが、はどれくらい睡眠をとったら良いか。睡眠の時間より睡眠の質が大事ということを知りたいのですが、本当か。
思春期の女子がイライラしているのは当たり前なのか。
学生でいつ受診して病気を知ることが出来るか。
子供のがんについて知りたい。
レズビアンである場合、子供をつくることはできますか。その場合、親になって子供にどうやって説明するのか。
このような事は簡略化して伝えることが出来ないからこそ、授業中等で、このようなパンフレットを用いて学ぶことが重要だ。重要な問題であることは理解している反面、やはり日常活動で長文を読んで理解を深めようとするに至るには、面倒ということが先導してしまい、難しいのではないかと感じる為です。
以前半年ほど生理がこなくて病院に行った。その後今までになく一定の生理がくるようになったが、問題はないのか。
おりものの量についての心配。
早く生理を終わらせたいです。
コンドームを使用しての妊娠の可能性
コロナウイルスワクチンで生殖に影響があるのかどうか。
PMS・PMDDについて、自分も知りたいし男性にも理解してほしいので、どのように伝えれば良いのか。
射精をしたときの気持ちが知りたい。

*子ども用質問では睡眠のような日常生活習慣に関することから、月経、がんについて、さらにはLGBTQに関する質問など多岐にわたっていた。多様化する個別の悩みに対応する支援の重要性が垣間見られた。(個人的な表現もみられたため、個人が特定されないよう一部表現を改変した。)

6) 子どもに対する、性・生殖に関する健康や悩みについて、地域・社会でどう支援することが重要だとおもうか、(表4)

表4 パンフレットを読んで感じたこと(大人用質問紙)(一部改変)

当然必要であると考え。対象の年齢により、表現などを工夫する必要がある。
小さな子供から、当たり前のように知るべきことだと思う。
ある程度小さい頃から、こういう知識を教えるといいと感じた。
子供を持つなら早めに。
必要なことであると思うが、時代の流れと共に考え方も変わってきているのだと思う。その都度対応に変化をもたせていく柔らかい頭が必要と感じる。
インターネットで情報を簡単に知ることが出来る時代、便利で助かる反面、見るつもりがなくても過剰な表現の画像や言葉を安易に見れてしまう機会が増えたり、間違った情報を信用してしまうこともあるので、専門的に教育・指導が受けられたり考えるきっかけが頂けることはとても大切だと思う。
大切とは思う
将来の妊娠を考えながら若者へ正しい知識を与える責任は大人にあると思う。
人を大切にするという学びは幼児から伝えることもできますが、まずは大人が自分を大切にしていれば子供に伝えていけたら良いと思う。
「彼女との付き合いは慎重に」「責任ある行動を」といった抽象的な助言のみをしてきたが、具体的に語れるテーマが含まれて話を進められると感じた。
健康であることの大切さが身に染みた。
食生活なども影響があることも伝えたい(食育など)
初めて見ましたが、良い資料だと思った。
学校での性教育では子供が自分やパートナー、異性を大切にできる内容が十分ではないように感じている。行動に結びつく知識を伝える意義があるように思った。
思春期の子供たちに、なかなか面と向かって話しづらいテーマだったので、とてもためになった。
学校でも保健の授業はあるものの、あまり深く掘り下げない程度なので、将来のためにも、やはり知っておいた方が良いことですし、話しづらくても教える必要はある。
日本では性に対する教育がほとんどされることがなく大人になっていくと思う。大人でも性に対する話はタブーのような感じがあるので子供が小さい頃から男女の体や性に対して教えていけると良い。

性病や生理、妊娠など、中高生から大人の女性が大変なことが多いと思うので、男女で分かりあうように努力していけば、望まぬ出産や墮胎が減ると思う。
個人の人生形成の場において、必要な知識を持ち、選択できることは重要と考える。
自分の子どもである男の子にこのような内容は、しっかりと教えていかないといけないと感じた。
日々の生活のなかで、年齢や時期を考えながら伝える。
充実した人生を送るため、低年齢のうちから、自分自身相手のことについて考えられる人が増加するとより良い社会になると思う。
妊娠や出産という視点以外にも女性特有の疾患やライフサイクルを考えた長期的な内容が必要だと考える。
自身の健康が次世代につながっていることを、心得ながら生活してほしい。そのために必要と思いました。
正しい知識を得ることは、とても大切だと思う。
妊娠、出産は相手(パートナー)の存在が前提なので、特に男性にも知識を得る機会が重要だと思います。ジェンダーとも密接に関わるので、包括的性教育の必要性を感じています。
障がいのある子供が生まれることがあります。また貧困、障がいのある男女が親になることもあるので、福祉制度、社会保障制度についても合わせて伝える必要があると思う。
これから娘が結婚をするので、こういった話をするには最適だと思いました。パンフレットがあると特に話題にしやすいです。
何事もよく考えて行動するようにと伝えてはいるつもり。
同性の娘には、折に触れて、話題にしておりますが、息子とどう話せばと考える。

パンフレットについての大人の自由記載については、記述した人はパンフレットの使用について概ね肯定的にとらえていた。パンフレットがプレコンセプションケアを教育する契機になること。低年齢のときからパンフレットにある内容の指導や教育が必要という意見が多かった。子どもの年齢や年代別の表現やツールを希望していることが分かった。(個人が特定されないよう一部表現を改変した。)

8) 地域と親子で取り組むプレコンセプションケア検討会開催



開催日時：2022年1月29日

参加者：7名

* 病院での病気を持った子どもを対象のプレコンセプションケアの企画をしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況の悪化のために中止となった。

そのため、「地域と親子で取り組むプレコンセプションケア」と題して検討会を開催した。参加者は幼少期から本の読み聞かせ等子どもに対するボランティア活動等地域で活動している人を対象とし、感染対策を徹底しながら開催した。

初めに主催者より、国際的なプレコンセプションケアの捉え方と国内での動向を踏まえ口演を実施した。その後、家庭でのプレコンセプションケア内容についての実際の在り様、学校で子どもが実際に体験した性教育を保護者の立場でどう感じてきたか、幼少期から地域の子どもたちに接している活動の中で可能なプレコンセプションケアに関する支援について話し合いを行った。次に、パンフレット内容についての意見交換を行い、大人用のアンケートに考えていることなどの記載を依頼した（個人の意見については質問紙に反映）。

5. 今後の課題

今回、プレコンセプションケアのパンフレットを作成し、小児科外来で配布し特に慢性疾患を持つ子どもへの支援を企画していた。パンフレットの配布は可能であったが、新型コロナウイルス感染症の蔓延が増加する中、当初は丁寧にその場でプレコンセプションケアについて説明しながらの調査を予定していたが、短時間での対面でのアプローチとなり、大多数が郵送での後日の返信となったため、子どもや大人の生の声を聞く機会が減少し、回収率も低い結果となった。

調査の結果から明らかになったことは、子どもは中学の時期にすでに、プレコンセプションケアの内容について学習する機会を得ていることが明らかになった。中学生の学習指導要領で思春期の変化や妊娠・出産について述べられており性感染症についても範囲である。高等学校の学習指導要領においては、生涯の健康について性と生殖のことを家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身の影響など踏み込んだものになっている。また、健康な生活と疾病の予防（適切な運動、食事、喫煙、飲酒、感染症の予防、がんの予防、予防接種、エイズ及び性感染症の予防）、中学校の道徳の指導要領には「異性についての理解と人間関係」を「思いやりを持って人と接すること」を教育内容として挙げている。妊娠前の葉酸摂取は、厚生労働省がこれから妊娠を考える女性に栄養摂取などについても早期からの指導が必要でプレコンセプションケアの内容が生活の中で具体的に実施できるよう細やかな指導が必要と考える。

子どもは、早期よりプレコンセプションケアに関連する内容は知識としては入手されていた。しかし、プレコンセプションケアに関する相談の場が欲しいと答えた人は大人で8割を超えており、子どもでも4割が必要性感じていた。専門家による支援の中では個別指導、ピアによる集団指導などの希望が大人、子どもともにあるとともに、病院でのがん検診やブライダル検診を希望していることがわかった。プレコンセプションケアの網羅的な実施から、個別が自分自身について悩み憂慮する際の受け皿の必要性が示唆される結果となった。これらの専門家による支援が喫緊に必要な対象数は少数であっても、個々が必要とする適切な支援が身近に必要と感じていることの表れと考えられた。

そこで、これらの結果を踏まえ、日本医療研究開発機構（AMED） 成育疾患克服等総合研究事業に応募し、「学童・思春期のプレコンセプションケアを促進するデジタルツールの研究開発」プロジェクトが採択された。今後はこのプロジェクトで、一般および疾病を有する学童・思春期を幅広く対象としたプレコンセプションケアのデジタルツールを開発し、さらに個々の相談にも応じられるシステムづくりに愛媛県を中心に県内外での展開を予定している。

6. 謝辞

本調査の趣旨をご理解いただき、調査に参加された皆様に深く感謝申し上げます。

II. 調查資料

II. 調査資料

1. 将来のための健康支援パンフレット（概要）



目次

はじめに

自分のからだ・心の変化を知ろう

1. ライフサイクルと身体の変化 p 5

2. 思春期のからだと心 p 6

3. 恋愛って? p 7

今と将来の自分の健康に向きあおう

4. やせすぎ、肥満の影響 p 8

5. 食生活・運動・睡眠 p 9

6. 喫煙・飲酒の健康への影響 p 10

7. がんとは～乳がん、子宮頸がん p 11

8. 性感染症とその予防 p 12

妊娠・出産

9. 妊娠・出産のことを知ろう p 13

10. 避妊～予期せぬ妊娠を避けるために p 14

自分の病気と妊娠・出産について考えてみよう

11. 病気とパートナーシップ p 15

自分の人生について考えてみよう

12. ライフプランを書いてみよう p 16

—自分のからだ・心の変化を知ろう—

I ライフサイクルと身体の変化

ライフサイクルは、人の一生における受胎から死までを意味します。女性には、次世代を産み育てるための妊娠・出産能力が備わっています。そのため、女性には特有の性周期があり、生涯を通じて心とからだに大きな影響を与えます。このような特徴から、女性は性周期をもたない男性とはライフサイクルにおいて異なる問題を生じます。思春期・成熟期・更年期・老年期の各ライフステージにおける健康は、ホルモン状態に大きく左右され、とくにエストロゲンは、初経を迎え、身体が成熟し、妊娠や出産を経て、閉経にいたるまで、心身の変化と密接な関係があります。また、初経を迎える思春期と閉経を迎える更年期は、急激にホルモン環境が変化する移行期であり、心身共に不安定になりやすいのです。

ヒトのライフサイクル

2. 子ども用質問紙

「将来の妊娠のための健康支援パンフレット」についてのアンケート

記入日：____月____日、 ID番号 _____

以下の質問にお答え下さい。

該当する項目に○をつけてください。また、(____)の部分に数字・言葉をご記入下さい。

1. 年齢 (____) 歳
2. 性別 女性 ・ 男性 ・ その他
3. ご職業ほか
あり (どのような職種ですか：____) ・ なし
学生ですか
あり (高校生・大学生・専門学校生・その他 (____)) ・ なし
4. 結婚状況 既婚 ・ 未婚：パートナー (あり ・ なし)
5. 同居者 (ごの家族など) を教えてください。
あり (具体的に：____)
なし
6. パンフレットは誰から受け取りましたか。
(_____)
7. (女性の方へ) 月経歴について
・初経はありましたか。 (はい ・ いいえ)
「はい」の方：いつですか。 (____) 歳)
月経周期は、(規則的、 不規則)
「いいえ」の方：治療は受けていますか。 (はい ・ いいえ)
8. (女性の方へ) 出産の希望はありますか？
(はい ・ いいえ ・ どちらでもない ・ 考えたことがない)
9. 治療中の病気： あり (具体的に：____)
なし
10. 成人の方にお尋ねします。
・喫煙しますか？ (現在喫煙中 ・ 過去喫煙 ・ 喫煙歴なし)
・飲酒はしますか？ (はい ・ いいえ)
「はい」の方：具体的にどのくらい飲みますか？ 例：週2回で1日1合など
(_____)
11. その他、日常生活で健康のために気をつけていることなど自由にお書き下さい。

パンフレットについてお尋ねします。

12. パンフレットの内容ですでに知っていたかどうか、番号を○で囲んでください。2. 知っていた、と答えた方はその内容に当てはまる番号に○をするかご記入ください。

1) ライフサイクルと身体の変化

1. 知らなかった
2. 知っていた
3. いつ知ったか ①中学生 ②高校生 大学生
4. どのような方法で ①授業中 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他 ()

2) 思春期のからだと心

1. 知らなかった
2. 知っていた
3. いつ知ったか ①中学生 ②高校生 大学生
4. どのような方法で ①授業中 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他 ()

3) 恋愛って?

1. 知らなかった
2. 知っていた
3. いつ知ったか ①中学生 ②高校生 大学生
4. どのような方法で ①授業中 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他 ()

4) やせすぎ、肥満の影響

1. 知らなかった
2. 知っていた
3. いつ知ったか ①中学生 ②高校生 大学生
4. どのような方法で ①授業中 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他 ()

5) 食生活・運動・睡眠

1. 知らなかった
2. 知っていた
3. いつ知ったか ①中学生 ②高校生 大学生
4. どのような方法で ①授業中 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他 ()

6) 喫煙・飲酒の健康への影響

1. 知らなかった
2. 知っていた
3. いつ知ったか ①中学生 ②高校生 大学生
4. どのような方法で ①授業中 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他 ()

7) がんとは～乳がん、子宮頸がん～

1. 知らなかった
2. 知っていた
3. いつ知ったか ①中学生 ②高校生 大学生
4. どのような方法で ①授業中 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他 ()

8) 性感染症とその予防

1. 知らなかった
2. 知っていた
3. いつ知ったか ①中学生 ②高校生 大学生
4. どのような方法で ①授業中 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他 ()

9) 妊娠・出産のことを知ろう

1. 知らなかった
2. 知っていた
3. いつ知ったか ①中学生 ②高校生 大学生
4. どのような方法で ①授業中 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他 ()

10) 避妊～望まない妊娠を避けるために～

1. 知らなかった
2. 知っていた
3. いつ知ったか ①中学生 ②高校生 大学生
4. どのような方法で ①授業中 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他 ()

11) 病気とパートナーシップについて

1. 知らなかった
2. 知っていた
3. いつ知ったか ①中学生 ②高校生 大学生
4. どのような方法で ①授業中 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他 ()

13. パンフレットの内容についてどの程度理解できたか、下記の1)～12)について
とても理解できた～1. 全く理解できなかった、の10段階のいずれかの番号を○で囲んで下さい。
13)以降は当てはまる番号を○で囲んでください。

1) ライフサイクルと身体の変化

とても理解できた 全く理解できなかった
10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

2) 思春期のからだと心

とても理解できた 全く理解できなかった
10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

3) 恋愛って?

とても理解できた 全く理解できなかった
10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

4) やせすぎ、肥満の影響

とても理解できた 全く理解できなかった
10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

5) 食生活・運動・睡眠

とても理解できた 全く理解できなかった
10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

- 6) 喫煙・飲酒の健康への影響
 とても理解できた 全く理解できなかった
 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
- 7) がんとは～乳がん、子宮頸がん～
 とても理解できた 全く理解できなかった
 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
- 8) 性感染症とその予防
 とても理解できた 全く理解できなかった
 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
- 9) 妊娠・出産のことを知ろう
 とても理解できた 全く理解できなかった
 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
- 10) 避妊～望まない妊娠を避けるために～
 とても理解できた 全く理解できなかった
 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
- 11) 病気とパートナーシップについて
 とても理解できた 全く理解できなかった
 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
- 12) ライフプランを書いてみよう
 とても理解できた 全く理解できなかった
 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
- 13) (パンフレットを読んで) 将来の妊娠や出産、についてどの程度考えることができたか。
 とてもよく考えた 全く考えない
 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
- 14) (パンフレットを読んで) 自分の性や妊娠や出産に関する健康について考える機会になったか。
 とても良い機会になった 全くその機会にならない
 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
- 15) ライフプランを実際に書いてみたか
 1. はい 2. いいえ
14. 自分の健康について相談する場があるとしたら、どのような内容を相談したいですか。
 下記の 1)～11)から選択 (複数選択可) して番号を○で囲んで下さい。12) ()はご記入
 下さい。
- 1) ライフサイクルと変化
 - 2) 思春期のからだと心
 - 3) 恋愛について
 - 4) やせすぎ、肥満の影響
 - 5) 食生活・運動・睡眠

- 6) 喫煙・飲酒の身体への影響
- 7) がんについて
- 8) 性感染症とその予防
- 9) 妊娠・出産のことを知ろう
- 10) 避妊～望まない妊娠をさけるために～
- 11) 病気とパートナーシップ
- 12) その他（

15. 性・生殖に関する健康や悩みについて、専門家に聞きたいことがあれば自由にお書きください。

16. 今後このようなプレコンセプションケアについて相談ができる機会があれば受けたいですか。
(はい ・ いいえ)

「はい」の方：どのような形でケアを受けたいですか。

下記の1)～9)から選択(複数選択可)して番号を○で囲んで下さい。10) ()はご記入は下さい。

- 1) 集団教育：ピア(同世代・同じ経験をした仲間)
- 2) 集団教育：家族とともに
- 3) 集団教育：夫・パートナーとともに(現在・将来⇒何れか○をして下さい)
- 4) 個人相談：家族とともに
- 5) 個人相談：夫・パートナーとともに(現在・将来⇒何れか○をして下さい)
- 6) 個人相談：電話で独りで相談したい
- 7) 個人相談：対面で独りで相談したい。
- 8) 病院で検診を受けたい：ブライダル(婚前)健診(現在・将来⇒何れか○をして下さい)
- 9) 病院で検診を受けたい：自分の気になる身体の健康診断(がん検診など)
- 10) その他()

ご記入ありがとうございました。同封の返信用封筒にて返送ください。
ご協力感謝いたします。

3. 大人用質問紙

「将来の妊娠のための健康支援パンフレット」大人用アンケート

記入日：____年____月____日

このアンケートは地域や周りの子ども、将来の子どもに対して、どの程度プレコンセプションケアについて伝えたいか・伝える必要があるとおもうかをお聞きするものです。

以下の質問にお答え下さい。

ここからは、回答するあなた自身についてお聞きします。

該当する項目に○をつけてください。また、____の部分に数字・言葉をご記入下さい。

1. 年齢 (____) 歳
2. 性別 女性 ・ 男性 ・ 答えたくない
3. ご職業
あり (どのような職種ですか：____) ・ なし (学生 ・ その他(____))
4. 同居者 あり (具体的に：____)
なし
5. お子様はお持ちですか
あり (人数と年齢 _____) ・ なし
6. パンフレットは誰から受け取りましたか。(_____)
7. (女性の方へ) 月経歴について
・ 月経はありますか (はい ・ いいえ ・ 閉経した)
「はい」の方はお答えください。
月経周期は、(規則的、 不規則)
・ 女性生殖器・妊娠関連で：治療は受けていますか。 (はい ・ いいえ)
8. (女性の方へ) 今後、出産の希望はありますか？
(はい ・ いいえ ・ どちらでもない ・ 考えたこともない)
9. プレコンセプションケアと子どもへ伝えることについて
考えたことや感じたことを自由にお書きください。

パンフレットについてお尋ねします。

10. パンフレットの内容であなたが知った時期についてお答えください。番号を○で囲んでください。
2. 知っていたと答えた方はその内容に当てはまる番号に○をし、その他に回答の場合は()に内容をご記入ください。

1) ライフサイクルと身体の変化

1. 知らなかった
2. 知っていた

- 1) いつ知ったか ①中学生 ②高校生 ③大学生 ④その他()
- 2) どのような方法で ①授業 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他()

2) 思春期のからだと心

1. 知らなかった
2. 知っていた

- 1) いつ知ったか ①中学生 ②高校生 ③大学生 ④その他()
- 2) どのような方法で ①授業 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他()

3) 恋愛って?

1. 知らなかった
2. 知っていた

- 1) いつ知ったか ①中学生 ②高校生 ③大学生 ④その他()
- 2) どのような方法で ①授業 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他()

4) やせすぎ、肥満の影響

1. 知らなかった
2. 知っていた

- 1) いつ知ったか ①中学生 ②高校生 ③大学生 ④その他()
- 2) どのような方法で ①授業 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他()

5) 食生活・運動・睡眠

1. 知らなかった
2. 知っていた

- 1) いつ知ったか ①中学生 ②高校生 ③大学生 ④その他()
- 2) どのような方法で ①授業 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他()

6) 喫煙・飲酒の健康への影響

1. 知らなかった
2. 知っていた

- 1) いつ知ったか ①中学生 ②高校生 ③大学生 ④その他()
- 2) どのような方法で ①授業 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他()

7) がんとは～乳がん、子宮頸がん

1. 知らなかった
2. 知っていた

- 1) いつ知ったか ①中学生 ②高校生 ③大学生 ④その他()
- 2) どのような方法で ①授業 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他()

8) 性感染症とその予防

1. 知らなかった

2. 知っていた

1) いつ知ったか ①中学生 ②高校生 ③大学生 ④その他()

2) どのような方法で ①授業 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他()

9) 妊娠・出産のことを知ろう

1. 知らなかった

2. 知っていた

1) いつ知ったか ①中学生 ②高校生 ③大学生 ④その他()

2) どのような方法で ①授業 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他()

10) 避妊～予期せぬ妊娠を避けるために

1. 知らなかった

2. 知っていた

1) いつ知ったか ①中学生 ②高校生 ③大学生 ④その他()

2) どのような方法で ①授業 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他()

11) 病気とパートナーシップについて

1. 知らなかった

2. 知っていた

1) いつ知ったか ①中学生 ②高校生 ③大学生 ④その他()

2) どのような方法で ①授業 ②本 ③雑誌 ④インターネット ⑤その他()

11. ここからはパンフレットの内容について、どの程度、周りの子どもに伝えたい・伝える必要があると思うか。

下記の1)～15)について、1～10の10段階のいずれかの番号を○で囲んで下さい。

1) ライフサイクルと身体の変化

とても伝えたい

積極的に伝えたいと思わない

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

2) 思春期のからだと心

とても伝えたい

積極的に伝えたいと思わない

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

3) 恋愛って?

とても伝えたい

積極的に伝えたいと思わない

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

4) やせすぎ、肥満の影響

とても伝えたい

積極的に伝えたいと思わない

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

5) 食生活・運動・睡眠

とても伝えたい

積極的に伝えたいと思わない

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

6) 喫煙・飲酒の健康への影響

とても伝えたい

積極的に伝えたいと思わない

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

7) がんとは～乳がん、子宮頸がん

とても伝えたい

積極的に伝えたいと思わない

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

8) 性感染症とその予防

とても伝えたい

積極的に伝えたいと思わない

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

9) 妊娠・出産のことを知ろう

とても伝えたい

積極的に伝えたいと思わない

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

10) 避妊～予期せぬ妊娠を避けるために

とても伝えたい

積極的に伝えたいと思わない

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

11) 病気とパートナーシップについて

とても伝えたい

積極的に伝えたいと思わない

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

12) ライフプランを書いてみよう

とても伝えたい

積極的に伝えたいと思わない

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

13) ライフプランを実際に書かせてみたいと思うか。

1. はい 2. いいえ

14) (パンフレットを読んで) プレコンセプションケア・将来の子どもの性や妊娠や出産、についてどの程度考えることができたか。

とてもよく考えた

全く考えない

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

15) (パンフレットを読んで) プレコンセプションケア・将来の子どもの妊娠や出産、性や妊娠や出産に関する健康について考える機会になったか。

とても良い機会になった

全くその機会にならない

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

12. 思春期以降の人が健康について相談する場があるとしたら、どのような内容の相談が必要だと思いますか？

下記の1)～11)から選択（複数選択可）して番号を○で囲んで下さい。

- 1) ライフサイクルと変化
- 2) 思春期のからだと心
- 3) 恋愛について
- 4) やせすぎ、肥満の影響
- 5) 食生活・運動・睡眠
- 6) 喫煙・飲酒の身体への影響
- 7) がんとは～乳がん、子宮頸がん
- 8) 性感染症とその予防
- 9) 妊娠・出産のことを知ろう
- 10) 避妊～予期せぬ妊娠をさけるために
- 11) 病気とパートナーシップ
- 12) その他 ()

13. 今後このようなプレコンセプションケアについて子どもが相談ができる場所あれば紹介したいですか？

(はい ・ いいえ)

「はい」の方：どのような形でケアを受けたいですか。

下記の1)～10)から選択（複数選択可）して番号を○で囲んで下さい。

- 1) 集団教育：ピア(同世代・同じ経験をした仲間)で参加できる場所
- 2) 集団教育：家族(夫以外)と参加できる場所
- 3) 集団教育：夫・パートナーが参加できる場所
- 4) 個人相談：家族(夫以外)とともに参加できる場所
- 5) 個人相談：夫・パートナーとともに参加できる場所
- 6) 個人相談：電話で独りで相談できる場所
- 7) 個人相談：対面で独りで相談できる場所
- 8) 病院で検診を受けたい：プライマル(婚前)健診が受診できる場所
- 9) 病院で検診を受けたい：自分の気になる身体の健康診断(がん検診など)が受診できる場所
- 10) その他 ()

